

# 資器材搬送車仕様書

京都市消防局総務部施設課

(担当：石田、菱野 075-212-6647)

この仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）に納入する資器材搬送車（以下「車両」という。）の設計及び製作に関する仕様について定めるものである。

## 第1 概要

この車両は、二輪駆動方式、シングルキャブ付シャシにクレーンを装備し、災害現場活動で使用する資器材を搬送することを目的とする車両で、次に掲げる部分により構成するものとする。

- 1 シャシ、キャブ及び荷台
- 2 特殊装置及びジャッキ・アウトリガー装置
- 3 取付品及び付属品

## 第2 適合法令等

車両は、次に掲げる法令、その他関係ある法令、通達等に適合するもので、緊急自動車としての要件を備えていること。

- 1 道路運送車両法
- 2 道路運送車両の保安基準
- 3 シャシ等のメーカーが示す安全基準

## 第3 適合規格

車両は、次に掲げる規格その他関係ある規格等に適合するものであること。

- 1 日本工業規格
- 2 クレーン等安全規則（移動式クレーン）

## 第4 提出書類等

- 1 受注者は、契約後速やかに当局と細部について打合せを行い、次の書類等を2部提出し、製作及び同等品の承認を受けること。

### (1) シャシ関係

- ア シャシ諸元明細
- イ シャシ組立図
- ウ シャシ重量分布表
- エ キャブ架装図及び組立図
- オ キャブチルト装置関係図

- カ 電気配線図
- キ バッテリー引出装置関係図
- ク ガバナ関係資料
- ケ シャシ番号及びエンジン番号表
- コ エンジン性能試験成績書
- サ トラックカタログ
- シ クレーン関係図書
- ス パワーゲート関係図書

(2) ぎ装関係

- ア ぎ装諸元明細
- イ 全般ぎ装図（4面図）
- ウ 油圧系統図
- エ 動力伝達機構図及び電気配線図（照明装置含む。）
- オ 電気配線図
- カ 使用材料明細書（外注品を含む。）

(3) その他

- ア 製作工程表
- イ 受注者における自主点検体制が確認できる図書
- ウ その他当局が指示するもの

2 受注者は、車両の納入に際して、前記1の承認に係る図書（製作工程表を除く。）3部及び次に掲げる書類等を提出すること。

- |   |     |
|---|-----|
| (1) 自動車改造計算書  | 3部  |
| (2) 車両重量実測表   | 1部  |
| (3) 各種装置取扱説明書及び点検整備書  | 3部  |
| (4) シャシ取扱ハンドブック   | 3部  |
| (5) 分解整備に必要な資料（整備要領書、パーツリスト等）                                   | 1部  |
| ただし、過去と同一の車両等の納入実績がある場合は不要とする。                                  |     |
| (6) 保証書   | 1部  |
| (7) 自動車検査証、自賠責保険証明書の各写し及び自動車リサイクル料金の預託状況が確認できる図書並びに登録後の完成車両四面写真 | 3部  |
| (8) 受注者の自主点検結果書   | 1部  |
| (9) その他当局が指示するもの  | 必要数 |

## 第5 検査等

1 受注者は工程ごとに自主点検を行い、当該点検結果をその都度報告すること。

- 2 検査は、完成検査とし、京都市消防活動総合センターで実施する。  
ただし、必要に応じて中間検査を実施すること（別途協議）。
- 3 検査は、当局の指示によって行うものとし、検査に必要な測定機器等は、受注者において準備すること。

## 第6 登録の代行等

- 1 受注者は、自動車新規登録及び新規検査申請を代行し、同代行に係る一切の諸費用（重量税及びリサイクル料含む。）を負担すること。ただし、自動車損害賠償責任保険料は当局の負担とする。
- 2 自動車新規登録・新規検査申請を行う際、登録内容について、事前に当局と必ず協議すること。

## 第7 納入時の点検整備等

納入時には、十分な点検整備を行っておくとともに燃料タンクは満量とすること。

## 第8 納期、納入場所及び納入台数

- 1 納 期：令和9年3月19日（金）
- 2 納入場所：消防活動総合センター（京都市南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内94-4）
- 3 納入台数：1台

## 第9 安全操作技能研修

- 1 納車時に納入車両を使用し、取扱説明及び安全操作技能研修を実施すること。（日数については別途指示する。）
- 2 上記研修等に係る費用については、受注者の負担とする。

## 第10 保証等

- 1 車両整備上必要な部品は、納入後10年以上確保し、当局から要求があれば迅速に供給できること。
- 2 納入後1年以内に故障（事故及び過失による損傷は除く。）が生じたときは、速やかに受注者の責任において無償で修理、取替え及びその他必要な措置を講じること。ただし、製作上の欠陥による故障は、期間にかかわることなく当局の使用期間中保証するものとする。
- 3 年末年始及び休日の車両故障等による緊急時の連絡先、担当者氏名等を明記したアフターサービス・メンテナンス体制証明書（別紙1）を提出すること。

## 第11 疑義の解釈等

本仕様書の内容について、疑義が生じた場合又は変更を必要とする場合は、その都度当局と協議を行うものとする。

## 第12 仕様

- 1 車両主要寸法等

- (1) 全 長 9, 4 0 0 mm以下
- (2) 全 幅 2, 5 0 0 mm以下
- (3) 全 高 3, 0 0 0 mm以下
- (4) 軸 距 離 4, 8 0 0 mm以上4, 9 0 0 mm以下
- (5) 車両総重量 1 1, 0 0 0 k g 未満

シャシの許容限度荷重の範囲内で可能な限り最大とし、必要に応じて部品（タイヤ等）の交換を行うこと。

なお、別表2の積載品、別表3の支給積載品及び別途指示するその他の積載器材を適法な状態で積載し、運行できる車両として製作し、新規登録すること。

- (6) 車両最大積載量 4, 0 0 0 k g 以上
- 消防用器材分を可能な限り最大限確保すること。

## 2 シャシ

トラック用シャシで二輪駆動車とし、次の諸元を満足すること。

### (1) シャシ型式

シャシ型式は、京都市公用車購入等に係る車種選定要綱の規定を満たす日野自動車(株)「2KG-GD2ABA」又は同等車とする。

なお、上記型式が変更された場合、排出ガス規制値等を満たしている後継型式であると当局が確認し、同意した場合は、同後継型式を同等車と認める。

ア 京都市公用車購入等に係る車種選定要綱の適合車両

イ 平成28年排出ガス規制及び自動車NO<sub>x</sub>・PM法の適合車両

ウ 平成28年騒音規制フェーズ1及び平成22年4月から実施の灯火器保安基準の適合車両

エ 低排出ガス重量車認定車両

### (2) エンジンの型式及び出力等

消防用検定合格エンジンとし、次の諸元を満足すること。

ア エンジン型式：水冷ディーゼルエンジン

イ 総排気量：5, 0 0 0 c c 以上

ウ 検 定 出 力：1 7 7 k w ( 2 4 0 P S ) 以上

### (3) トランスミッション等

マニュアルトランスミッションとし、シフトレバーをリバースの位置にした際に、キャブ内外に警報音を発する機構とすること。

(4) かじ取り装置は右ハンドルでパワーステアリング方式とすること。

(5) ブレーキ装置にはABS装置を取り付けること。

(6) アイドルストップシステム及び衝突被害軽減ブレーキシステムを標準装備している

ションについては、同システムのキャンセルスイッチを設けること（構造上取り付けができない場合を除く。）。

#### (7) 電装品

ア 電気系統は別途指示するものを除き、エンジンスタートスイッチのACC等及びONに連動して通電すること。

イ オルタネーター及びバッテリーは、車載可能な最高容量のものとする。

ウ 過充電防止付自動充電器を後部座席後部に積載し、充電用コンセント（5m長専用コード付き）をバッテリー付近に取り付けること。

充電用コンセントは原則マグネット式とすること。

コンセントを接続していない時は落下防止措置を施したキャップ等（原則ねじ式以外とする。）で車両側接続部分を保護すること。

なお、充電時の走行を防止するための切替えスイッチを設けるとともに、コンセント接続中は、エンジンスタートできない機構とすること。

エ ヒューズボックスには、それぞれ名称及び容量を記入すること。

オ 電気系統の配線は、十分な電流容量を有するもので、かつ、耐候性に優れたものであること。

(8) 吸気ダクトの吸気口は可能な限り高くし、水の吸込みを低減すること。

### 3 キャブ

#### (1) キャブの構造

ア 鋼板製シングルキャブとすること。

イ 座席は、運転席及び助手席の計2名とし、それぞれクッションスポンジ入りの超防汚シートカバー（色は赤×黒、選択できない場合は別途指示）張りとする。

ウ 運転席は、前後調整式とし、同席ドアの内側にはポケットを取り付けること。

エ 各座席ドア下部にアルミ製ステップを設けること。同ステップは、十分な強度があり滑りにくい形状とし、幅及び奥行とも可能な限り広く、かつ、低い位置に取り付けること。

オ 各ホイールアーチ部にアルミプロテクターを取り付けること。

カ フロントバンパー上面には、キャブ前面整備用足場として、必要な箇所にアルミ縞板を貼ること。（ただし、構造上貼ることができない場合は除く。）

キ 運転席及び助手席の各天井部にLED照明灯を設置すること。

なお、上記各照明灯は、スイッチ付きとし、「ON OFF DOOR」の表示を貼付すること。

ク 運転席と助手席の間にセンターシート下物入れボックス及びセンターコンソールボックス（各緩衝材敷き）を設けること。

ケ 助手席のドア付近の上部には、フレキシブルマップランプ（LED、スイッチ付き）を室内用取手に支障のないように取り付けること。

- コ キャブ後面の上部に折畳み式二股フックを4個以上取り付けること。
- サ キャブ後窓の内外には、ステンレス製保護枠を取り付けること。
- シ キャブ内に携帯無線機及び携帯電話を充電するための100Vコンセント（DC ACインバーター付（定格出力700W以上））を2口設けること。（位置は別途指示する。）

外部から充電用マグネットコンセントを接続した場合は、外部電源を使用できるようにすること。

- ス キャブ内前部にシガーライタータイプのDC24Vの出力コネクタ（1個以上）を取り付けること。

## (2) 内張り

キャブ内天井部は、シャシ標準仕様とすること。ただし、天井に内張りを設けなければならないものにあつては、可能な限り高い位置に張るとともに、天井内の配線の点検等を容易に行える構造とすること。

## (3) 計器類の取付け

- ア キャブ内の運転席付近の別途指示する位置に電子サイレンアンプ、集中操作スイッチ（大阪サイレン製：SBW-D1）、エンジン油温計、アワーメーター、電圧計及びエンジン回転計等を取り付けること。

なお、集中操作スイッチの配置は10連スイッチボックス配置例（別図）を標準とすること。

なお、6A以上の回路にあつては、マグネット式スイッチとすること。

- イ 運転席及び助手席付近の各座席から操作しやすい位置に、電気サイレン用押しボタン式スイッチ（押下中のみ鳴動する機構とし、誤操作防止用のガードを取り付けること。）を各1個増設すること。

## (4) 各ドアの施錠は、集中ドアロック方式とする。

- (5) パワーウインドウ、LED式ヘッドランプ、電動格納式サイドミラーを選択できるものにあつては、標準品に替えて取り付けるとともに、左右サイドミラーについては、可能な限り広角を写映できるもの（2面鏡式ミラー等）を使用すること。

- (6) 別途指示する位置に、車輪止め積載ブラケットを取り付け、走行中に落下しない措置を講じること。

## (7) キャブチルト装置

メーカー標準仕様とすること。

## 4 荷台

- (1) 荷台は全長5,400mm以上、全幅2,300mm以上、高さ380mm以上とすること。

- (2) 荷台床面、全高面あおり部分を内側を、木製等により仕上げること。
- (3) 後面あおりは、はめ込み式とし荷重に対し十分な強度を有するよう製作すること。  
その他のあおりはメーカー標準以上の強度を有することとし、あおり上面に縞板を設けること。
- (4) 床面に固定用フックを可能な限り多く設けること。
- (5) 荷台前面に、船外機を固定するためのアンカーポイントを設けること（別途指示）。
- (6) 救助ボートを荷台と固定するためのラッシングベルト（ベルト幅25mm以上、全長4m以上、両端アイタイプ、ラチェットバックル式、使用荷重200kgf以上）を6本以上積載すること。

## 5 緊急車仕様

- (1) 大阪サイレン製電子サイレンアンプ「TSK-D152」（専用マイク付き及び京都市消防局広報用メッセージ（別表）内蔵）を別途指示位置に取り付けること。
- (2) 大阪サイレン製散光式警光灯「NX-SS-XY1-C」を2個キャブ前部屋根上に取り付けること。
- (3) 大阪サイレン製モーターサイレン7型をキャブ屋根上に取り付けること。  
なお、モーターサイレン専用スイッチを、助手席右側付近及び運転席付近の操作しやすい位置に、各1か所ずつ増設すること。（助手席側及び運転席側でオンオフが連動する、階段式スイッチとすること。）
- (4) 大阪サイレン製LED警光灯「LFA-160」又は同等品を車両前後部に各2個取り付けること（取付位置は別途打合せ）。
- (5) 各機器の取付は、防水処置を十分に施すこと。

## 6 特殊装置

### (1) 4段式クレーン装置

キャビン後部にクレーン装置最大クレーン荷重2.9t以上（株式会社タダノZX364）を取付け、車両側面より操作できる構造とし、後部荷台に積載するボート等を容易に吊り上げ、下げできること。フックは固定して収納できること。

なお、クレーンは常時車両前方向に格納するものとする。

諸元は以下のとおりとする。

ア 最大地上揚程：11m以上

イ 最大作業半径：9.5m以上

ウ ブーム伸縮装置：油圧シリンダー2本＋ワイヤロープ式伸縮装置

エ ワイヤー長：60m以上（φ8mm）

オ その他付属品

(ア) ブーム作業灯

- (イ) フック巻過防止装置
- (ウ) ジャッキ敷板
- (エ) アウトリガー転倒防止装置
- (オ) 連動リモコン装置（複数種類選択可能な場合、操作が容易ものとする）
- (カ) デジタル式荷重計
- (キ) ブーム・アウトリガー未収納警報装置
- (ク) フック自動収納

(2) ジャッキ

ジャッキは上記の4段式クレーン装置に付属するもので、複動シリンダー方式とする。

ア ジャッキ上部にジャッキ延長に連動して点滅する警報灯を設置すること。

イ ジャッキ敷板は、木製又は樹脂製とし別途指示する位置に収納すること。

(3) パワーゲート

車両荷台後方に、パワーゲート装置（極東開発工業(株)製 CG1000TM）を設置すること。また、同装置はリモコン操作により安全に重量物を昇降できること。諸元は以下のとおり。

ア ボディーデッキ地上高：1,000mm～1,250mm

イ 最大許容リフト荷重：1,000kg以上

ウ その他：床下格納式、キャスターストップ付

7 器材収納庫

(1) 車両両側のキャビンと荷台の間に2個、前後輪間に1個以上、別表2の積載品を収納できる器材収納庫を取り付けること。

(2) 器材収納庫には、その上部扉の開放と連動して、庫内を有効に照明するための庫内灯（LED）を設けること。

なお、各扉の開閉状況を運転席に設置の10連スイッチ内のランプの点滅表示で確認できるとともに、扉等の空いた状態での走行を防止するため、サイドブレーキ連動の警報音で確認できること。

(3) 荷台前面両側に無線送受話器収納箱（送受話器を引っ掛けるためのフック及び扉を開放したときに扉を固定できるアームストッパー付き。）を別途指示する位置に、取り付けること。

なお、扉開閉により連動するリミットスイッチを1個設置すること。

また、支給するスピーカーを別途指示する位置に取り付け、無線送受話器用の信号線とともに配線を施すこと。

なお、スピーカー用の信号配線は、同収納箱扉を開放した際にエンジンスタートスイッチがOFFの状態であっても無線音声が出るよう専用スイッチを取り付けて配

線し、予備の扉スイッチを1個納入すること。

- (4) 器材収納庫は必要に応じてすのこ板、水抜き穴等を設けパイプ等で車体下方に排水できるようにすること。

また、器材収納庫の開閉は片手操作ができる方法とすることとし、各扉には扉開放防止用金具を別に取り付けること。

## 8 作業灯

荷台鳥居部分に作業灯（佐藤工業所製：フラッシュボーイLED NEO（左右に各1基））を取り付け、スイッチは、各作業灯付近のボディの地上から操作しやすい位置に設けること。前部左右の作業灯は0.7m以上の伸縮回転式ポール等を取付け、車両左右周辺を広範囲に照射できるようにすること。

## 9 塗装、その他のぎ装等

- (1) 燃料タンク給油口は鍵付とし、注入口キャップ付近に使用燃料及び容量を明記すること。
- (2) 前後左右フェンダー後部にマッドガードを取り付けること。
- (3) 左右後輪付近に可能な限り高照度の路肩灯（集中操作スイッチに接続）を取り付けること。
- (4) フロントグリル中央にメッキ製の消防記章（外径150mmφ）を取り付けること。
- (5) キャブ内塗装色は、シャシ標準色とする。
- (6) キャブ内に使用する内装材は、難燃材とすること。
- (7) 荷台部は黒色とする。
- (8) 塗装下地は、完全な錆落としのうえ、いずれも十分な防錆塗装を行うこと。
- (9) 車体塗装色は、消防朱色とし、3回以上塗装すること。

なお、キャブ部分前方及び左右の周囲に白色の帯線をマーキングシート等で作成し、貼付すること。（サイズ等は別途指示）

- (10) エンジンオイルドレンボルト及び車両底部ジャッキアップポイントに黄色塗色を施すこと。
- (11) 組枠及び板金の先端は、資器材の出入れ及び点検整備の際に危険がないように加工すること。
- (12) 各々のスイッチ、レバー等には、名称等のほか、必要に応じて許容条件又は注意事項等を記入した銘板等を取付けること。
- (13) 当局の指示する文字（消防本部名（日本語・英語）及び部隊名等）を反射素材のマーキングシールで作成し、貼付すること。ただし、反射素材のマーキングシールが貼付できない箇所にあつては、反射素材でないマーキングシールを貼付すること。（マーキングシールが貼付できない箇所は手書きとすること。）

なお、反射素材のマーキングシール貼付箇所についての詳細は、別途指示する。

- (14) 車両の左右側面・後面に赤色の再帰性に富んだ反射テープを貼付すること。(位置及び大きさ等の詳細は別途指示)
- (15) 別表1に示す「取付品」を取り付けること。
- (16) 別表2に示す「積載品」を積載し、取付装置及び積載装置を取り付けること。
- (17) 別表3に示す「支給積載品」の取付装置及び積載装置を取り付けること。

## 10 無線等

- (1) 当局が支給する車載無線機用アンテナ（260MHz帯λ/4ホイップアンテナ、台座・ケーブル付2式）を、当局職員が指定する位置に適切に取り付けること。
- (2) 車載無線機用アンテナの点検口を車内天井の当局職員が指定する部分に2か所設置し、同場所から同軸ケーブル（5D-2V）を車載無線機設置位置まで配線すること。
- (3) 車載無線機用として車両バッテリーから直接電源線を取り出し、キャブ内の当局職員が指定する位置に2芯線（赤黒）を2式配線すること。
- (4) 車載無線機設置に必要なアンテナ及びケーブル配線等の取付けにあつては防水処理を施すこと。

なお、設置個所の詳細については別途指示する。

## 第13 その他

### 1 同等品での入札参加

本仕様書中に品名等を指定しているものについては、原則同品名を取り付け又は積載するものとするが、同等品確認依頼書（別紙2）により承認が得られた場合は、同等品での納入を可とする。

- 2 本仕様書中に示す取付方法及び取付位置、積載方法及び積載位置並びに数値等は、当局との協議のうえ、指示を受けた場合はこの限りでない。
- 3 本仕様書に記載する数量は、最低数量であり、同数量以上であれば可とする。
- 4 契約金額の支払は履行確認後とする。

# 取付品

別表 1

品名	型式等	取付方法等	数量
散光式赤色警光灯	大阪サイレン製 (24V:NX-SS-XY1-C)	キャブ前部屋根上に取り付けること。	2式
電気サイレン	大阪サイレン製 モーターサイレン(24V:7型)	取り付けること。	1式
電子サイレンアンブ	大阪サイレン製 (24V:TSK-D152) 別表4「京都市消防局 消防車用 サイレンアンブ搭載メッセージー覧」内蔵	本文のとおり 京都市消防局広報メッセージ内容及び使用方法の簡易説明 (A4サイズラミネート加工) を積載すること。	1式
標識灯	標準品 (黄色)	取り付けること。	1式
LED警光灯	大阪サイレン製 (24V:LFA-160)	本文のとおり	4基
庫内灯	LED・白色	器材収納庫内に取付け (器材収納庫各扉の開放と連動して点灯)	2灯
作業灯	佐藤工業所製:フラッシュホー LED NEO	車両左右 (付近にスイッチ)	2基
作業灯	クレーン操作レバー付近を照明	別途指示	2灯
カーヒーター	標準品	取り付けること。	1式
カーエアコン	標準品	取り付けること。	1式
AM/FMラジオ	標準品	取り付けること。	1式
自動車用時計	標準品 (デジタル式)	取り付けること。	1式
牽引用フック	シャックル型 (最大許容荷重2 t以上)	前後部に取り付けること。(取付不可の場合は除く)	1個
サンバイザー	標準品	運転席及び助手席前部に取り付けること。	2個
サイドバイザー	標準品	各ドア上部に取り付けること。	2個
握り手	標準品	キャブ内各ドア付近に取り付けること。	2個
後退警報及び左折警報ブザー	音声式 (スモールライトと連動しないこと)	車体後部及び左側に取り付けること。 (運転席付近にオンオフスイッチを設けること。)	1式
フロントグリル	メッキ製	取り付けること。	1式
フロントバンパー	メッキ製	取り付けること。	1式
ナンバープレート取付枠	ステンレス製太枠	取り付けること。	2個
燃料タンク	容量100L以上	取り付けること。	1式
スポットライト	LEDマップランプ型、スイッチ付き	本文のとおり	1個
後退灯	標準品	取り付けること。	1式
タイヤ	横浜ゴム株式会社製 ZEN902ZE (通年スタッドレス)	取り付けること。	6本
4段式クレーン用サイドP.T.O 又はフライホイールP.T.O	専用型	取り付けること。	1式
4段式クレーン用サイドP.T.O 又はフライホイールP.T.O切替スイッチ	専用型	運転席切替方式、作動確認灯併設	1式
近接センサー	標準品	車両側面及び後部に取り付けること。	1式
バックカメラ	ルームミラー型モニター	取り付けること。	1式
オーバーヘッドコンソール	標準品	キャブ天井部付近に取り付けること。	1式
路肩灯	標準品 (LED・白色)	取り付けること。	1式
全自動充電器	24V: ANB-1224S (専用コード付き)	取り付けること。	1式
エンジンキー			6本
積荷用シート	標準品	取り付けること。	1式
ゲートプロテクター	標準品	取り付けること。	1式
リアウインドウ保護枠	標準品 (前後)	取り付けること。	1式
マッドガード	標準品	取り付けること。	4枚
無線用ケーブル	MVVS 2芯0.5sq(SP用)、MVVS 5芯0.3sq(送受話器用)	キャブ内無線機本体取付け部付近から無線送受話機取付位置付近まで各々配線すること。	2式

積載品

別表2

品名	型式等	取付方法等	数量
スリング	3t、5t用、5m、10m×各2	積載	計8本
スリング保護具	シライ 補強筒BMT	積載	計8個
シャックル	2.5t、1.5t×各4	積載	計8個
ラッシングベルト	本文のとおり	本文のとおり	6本
ワイヤ荷締機	600kg、800kg×各2	積載	計4個
玉掛ワイヤ	Aタイプφ12mm、3m×2、6m×2	積載	計4本
メッシュカーゴ（吊りタイプ）	大洋製器工業製（TML-12）	積載	2基
4天吊りスリング	大洋製器工業製（TML-4WR:4WR3.2TX2）	積載	1本
モッコタイプスリング	丸善織物（MO25-20B）	積載	2本
折り畳み式カラーコーン	高さ450mm程度、反射材付	積載	4個
消火器	自動車用ABC粉末6.0kg入り（蓄圧式）	本文のとおり	1個
車輪止	丸和商会製 中型	本文のとおり	1式
スベアタイヤ	横浜ゴム株式会社製 ZEN902ZE（通年スタッドレス）	積載	1本
タイヤチェーン	標準品（後輪用シングル）	積載	1式
車両工具	標準品（5トンダルマジッキ付）	積載	1式
ハブナットレンチ	標準品（フロント及びびりヤ用）	積載（ただし、過去に納入実績のある車両でハブナットレンチの形状が変わらないものは除く。）	1式
足置マット	各座席用	取付け	1式
非常用信号用具	発煙筒、非常用信号灯（マグネット付き）及び三角表示板	積載	各1個

## 支給積載品

別表 3

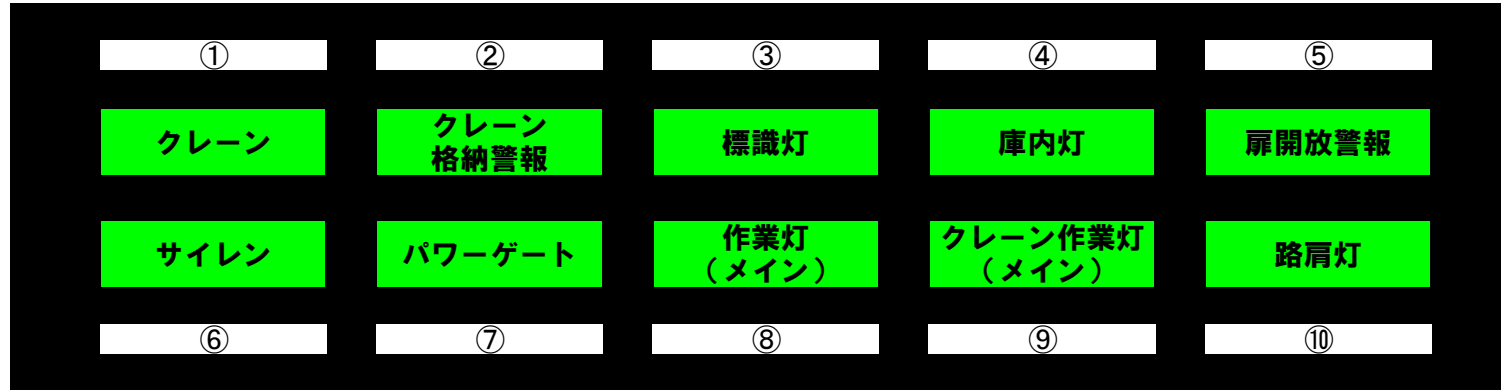
品名	型式等	取付方法等	数量	重量(kg)
車載無線機アンテナ	車載用260MHz帯λ/2ホイップアンテナ(台座・ケーブル付き)	本文のとおり	2式	1.2
コンビネーションスピーカー	TOA Q-SC705A(赤色)	別途指示	1個	2
合計				3.2

## 京都市消防局 消防車用 サイレンアンプ搭載メッセージ一覧

別表4

区分	仕様	内容	音声	操作
右折	メーカー標準	右へ（に）曲がります。ご注意ください。	女声	ウィンカー連動
左折	メーカー標準	左へ（に）曲がります。ご注意ください。	女声	ウィンカー連動
後退	メーカー標準	バックします。ご注意ください。	女声	バックギア連動
渋滞通過	メーカー標準	消防車が通ります。進路を譲ってください。	女声 もしくは 男声	専用スイッチ
交差点	メーカー標準	交差点に進入します。ご注意ください。	女声 もしくは 男声	専用スイッチ
出動予告	メーカー標準	消防車が出動します。ご注意ください。	女声	専用スイッチ もしくは サイレン連動
CH. 1	専用	消防車が動きます。御注意ください。×3（英語→中国語→韓国語）	女声	広報音声再生スイッチ （チャンネル選択式）
CH. 2	専用	消防車が通ります。道を空けてください。×3（英語→中国語→韓国語）	女声	広報音声再生スイッチ （チャンネル選択式）
CH. 3	専用	消防車が左折します。御注意ください。×3（英語→中国語→韓国語）	女声	広報音声再生スイッチ （チャンネル選択式）
CH. 4	専用	御協力ありがとうございます。×3（英語→中国語→韓国語）	女声	広報音声再生スイッチ （チャンネル選択式）
CH. 5	専用	こちらは京都市消防局、京都市消防団です。毎月5日、20日は、無火災推進日です。火災は、ちょっとした油断や不注意が原因で発生します。お出掛けの際や、お休み前にはもう一度火の元を確かめましょう。	女声	広報音声再生スイッチ （チャンネル選択式）
CH. 6	専用	こちらは京都市消防局、京都市消防団です。京都市内では、放火による火災が多く発生しています。家の周りに燃えやすい物を置かない、夜間には屋外の照明を点けて明るくするなど、放火されない環境を作りましょう。	女声	広報音声再生スイッチ （チャンネル選択式）
CH. 7	専用	こちらは京都市消防局です。ただ今、大雨の影響で河川の増水、低地の浸水、土砂災害などが発生する恐れがあります。今後の情報に十分注意してください。	女声	広報音声再生スイッチ （チャンネル選択式）
CH. 8	専用	こちらは京都市消防局です。現在、水道管内に濁りが発生しています。水の御使用に当たっては十分御留意ください。	女声	広報音声再生スイッチ （チャンネル選択式）
CH. 9	専用	こちらは京都市消防局です。先ほどの消防車の出動は、調査の結果、火災ではありませんでしたので御安心ください。	女声	広報音声再生スイッチ （チャンネル選択式）
CH. 10	専用	こちらは京都市消防局です。発生中の火災はほぼ消し止められましたが、鎮火確認まで引き続き消防隊が活動しますので、御協力をお願いいたします。	女声	広報音声再生スイッチ （チャンネル選択式）

10連スイッチボックス配置例



- 表示
- ① クレーン
  - ② クレーン格納警報
  - ③ 標識灯
  - ④ ボックス内灯 (メイン)
  - ⑤ 扉開放警報
  - ⑥ サイレン
  - ⑦ パワーゲート
  - ⑧ 作業灯 (メイン)
  - ⑨ クレーン作業灯 (メイン)
  - ⑩ 路肩灯

- 動作
- クレーン装置を使用中点滅
  - クレーン未格納時に表示部点滅
  - 標識灯のON・OFF
  - 器材収納庫内の照明灯の主電源ON・OFF
  - ボックス及び扉開放時に表示部点滅
  - モーターサイレンのON・OFF
  - パワーゲート未格納時に表示部点滅
  - 作業灯の主電源ON・OFF
  - クレーン作業灯の主電源ON・OFF
  - 路肩灯のON・OFF

## アフターサービス・メンテナンス体制証明書

(宛先) 京都市長

所在地

名称

代表者名



購入車両の納入後、修理、点検、保守その他のサービス及び部品の供給を10年以上確保するとともに、国内においてその体制が整備されていることを以下のとおり証明します。

## アフターサービス・メンテナンス体制 (ぎ装)

名称	
所在地/連絡先	
出張体制	
夜間休日の連絡体制/連絡先	

## アフターサービス・メンテナンス体制 (シャシ)

名称	
所在地/連絡先	
指定自動車整備事業場と受注者の関係	

## 部品調達日数・納入後部品供給可能年数

部 品 名	供 給 元	調達日数	供給可能年数
ぎ装整備に必要な部品		日	年
車検整備に必要な部品		日	年

## 同等品確認依頼書

(宛先) 京都市長

所在地

名称

代表者名



同等品での納入を希望するため、同等品確認を依頼します。

## 同等品諸元比較

	同等品	仕様書内指定品
品名		
規格(サイズ等)		
性能		
重量		
納入実績		

## 同等品での納入を希望する理由

--

※ 記載内容を確認できる書類(カタログ、メーカー発行の諸元表及び試験結果報告書等)を添付してください。

※ 同等品1種類ごとに同等品確認依頼を1部作成して下さい。

